

地域再生計画
【地域再生基盤強化交付金(汚水処理施設整備交付金)】
事後評価

『南あわじふれあい共生のまち再生計画』

平成23年9月
兵庫県南あわじ市

地域再生計画 事後評価シート

地域再生計画の名称		『南あわじふれあい共生のまち再生計画』				計 画 期 間		平成17年度～平成21年度					
地域再生計画の作成主体の名称		南あわじ市				交 付 金 の 交 付 期 間		平成17年度～平成21年度					
地域再生計画の区域		南あわじ市の全域				計 画 認 定 日		平成 17年 6月 17日					
適用される支援措置		地域再生基盤強化交付金（污水処理施設整備交付金）【公共下水道・漁業集落排水施設・合併浄化槽】											
1)	事業の実施状況	公共下水道事業（広田・津井・松帆湊・市榎列・八木榎列・神代・阿万・賀集・福良 計9処理区）、漁業集落排水施設（丸山地区）、合併浄化槽											
2)	地域再生計画に記載した数値目標の達成状況	目標の内容		単位	従前値		目標値		実績値		達成率（％）	評 価	
					基準年度		基準年度		基準年度				
		(目標1)	污水処理施設の整備促進	%	44.3	H16	80.0	H21	75.7	H21	95%		目標の数値までは及ばなかったが、污水処理施設整備交付金の活用により効率的な整備が実施でき、污水処理人口の普及が図られた。
(目標2)	BOD値の改善	mg/	20	H16	12	H21	2.5	H21	-	計画を大幅に上回り、公共用水域の水質保全が図られた。			
3)	その他の数値指標の成果状況	事業種別		内 容			単位	計画値	実績値	達成率（％）	評 価		
		公共下水道事業		下水道整備延長			m	101,300	109,288	107.9%	計画的な整備エリアの選定、コスト縮減により予定事業費内で計画値を上回る効果的な整備が図られた。		
				マンホールポンプ設置数			箇所	71	73	102.8%	計画的な整備エリアの選定、コスト縮減により予定事業費内で計画値を上回る効果的な整備が図られた。		
		漁業集落排水施設		下水道整備延長			m	6,400	7,207	112.6%	計画的な整備エリアの選定、コスト縮減により予定事業費内で計画値を上回る効果的な整備が図られた。		
				マンホールポンプ設置数			箇所	11	10	90.9%	整備路線の見直し等により設置数は計画値を下回る結果となったが、効果的な整備が図られた。		
				処理場整備			箇所	1	1	100.0%	計画どおりの整備が図られた。		
		合併浄化槽		合併浄化槽設置数			基	297	272	91.6%	ほぼ計画どおりの整備が図られた。		
評価凡例													
達成度(%)		記号											
100以上													
85～99													
70～84													
50～69													
49以下		x											
整備事業費 (単位:千円) 交付金対象のみ	事業種別		H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	事業費計	交付金の額	計画事業費			
	公共下水道事業	実績	2,459,000	1,827,200	1,223,600	1,381,700	1,284,700	8,176,200	4,088,100	8,176,200			
	漁業集落排水施設	実績	20,000	900,000	250,000	144,000	-	1,314,000	657,000	1,406,000			
	合併浄化槽	実績	15,834	20,515	20,735	24,966	24,081	106,131	35,377	113,430			
	合 計			2,494,834	2,747,715	1,494,335	1,550,666	1,308,781	9,596,331	4,780,477	9,695,630		
総合評価		污水処理施設の整備については、整備エリアの選定やコスト縮減により予定事業費内で、効果的な整備がなされ計画値以上の成果を得た。合併浄化槽の整備においては、改造する家庭は、ほぼ計画通りに設置がなされ、効果的な整備を遂行することができた。また、市の独自政策としての関連事業である農業集落排水施設（志知地区）および一般廃棄物処理施設（庄田地区）も予定通りに整備が完了した。粗大ゴミ無料収集事業、環境パトロールにおいても平成17年度に実施した。											
今後の方針、方策		当市における污水処理人口普及率はまだまだ低い状況であるため、平成22年度からは社会資本整備総合交付金の活用により引き続き、効率的かつ計画的な整備を図り、普及率の向上と同時に接続率を高めるため水洗化の普及活動に積極的に取り組みます。また、BOD値においても引き続きその数値を維持するため、污水処理施設の維持管理を適切に行い、公共用水域の水質保全、生活環境の改善を図ります。合併浄化槽においては、今後、分譲地や新築への対応を継続して行います。											